

有明高校陸上競技部



飯沼みのり選手

丸橋茉優主将

高野鈴菜選手

吉野双葉選手

古川夏海選手

- ◆古川夏海 1区・2年生。不動のエース。県代表として都道府県対抗駅伝に3年連続出場。趣味は食べること。
- ◆吉野双葉 2区・2年生。ロードでは記録以上の走りを見せ、安定感のある走りに定評。趣味は音楽鑑賞。
- ◆高野鈴菜 3区・2年生。歩幅を大きくとるストライドとスピードのある走りが持ち味。趣味は食べること。
- ◆丸橋茉優 4区・3年生。主将。スピードがあり、短い距離に強い。粘り強い走りを見せる。趣味は音楽鑑賞。
- ◆飯沼みのり 5区・2年生。昨年の県高校総体3,000mで3位入賞。粘り強い走りが特徴。趣味はおかしづくり。

昨年、創部11年目で初となる都大路（全国駅伝大会）への切符を手にした有明高校陸上競技部。出走できるぎりぎりの人数・5人で夢をつかみとりました。

全国大会では36位とあと一歩及びませんでした。大舞台を走りぬいた選手たちの表情は晴れやかです。「納得のいく結果ではなかったけれど、良い経験ができ、自信になりました」と、声をそろえます。

丸橋主将は「4人は歴代の部員の中でも一番力があり、さまざまな経験を重ねてきました。その経験を生かし、さらにレベルアップして、ことしこそは都大路で入賞してほしい」と、エールを送ります。下級生は「筋力トレーニングで体づくりに重点を置き、今度は新入生と都大路に戻ってこられるよう、いっそう努力します」と、次の目標を定め、すでに新しいスタートを切っています。

「5人しかいないので、一人でも欠けると駅伝に出場できません。なので、自己管理を

徹底し、『自分がしっかり頑張らないと！』と、どのチームよりも意識を高く持つよう心掛けていました」寮で共同生活を送り、家族のように固い絆でむすばれた5人。時にけんかをしながらも、励まし合い、力を合わせ、数々の試練を乗り越えてきました。

昨年夏、チームはエース古川選手の故障という困難に見舞われました。しかし、このことがきっかけで「ベストな状態でない選手がいても、残りの選手がさらに力をつけて、カバーしないとイケない」と、強く意識するように。チームは一回り成長することができました。

これまでを振り返り、「たくさんさんの声援のおかげで都大路を走らせてもらいました。何より、この5人だったからこそ、今まで諦めずにやってこられた」と、互いをねぎらいます。卒業する丸橋主将から夢のタスキを託された4人は、新入生と共に、夢の続き・都大路を目指し、全力で駆け抜けます。